



Media Master を使用した作業

- [4 ページの「Media Master について」](#)
- [5 ページの「録音でのサウンドファイルの使用」](#)
- [6 ページの「再生デバイスと録音デバイスの変更」](#)
- [7 ページの「コンピュータのスピーカを再生デバイスとして使用する場合のメッセージ再生音量の変更」](#)
- [8 ページの「コンピュータのスピーカを再生デバイスとして使用する場合のメッセージ再生速度の変更」](#)
- [8 ページの「Media Master のキーボードショートカット」](#)

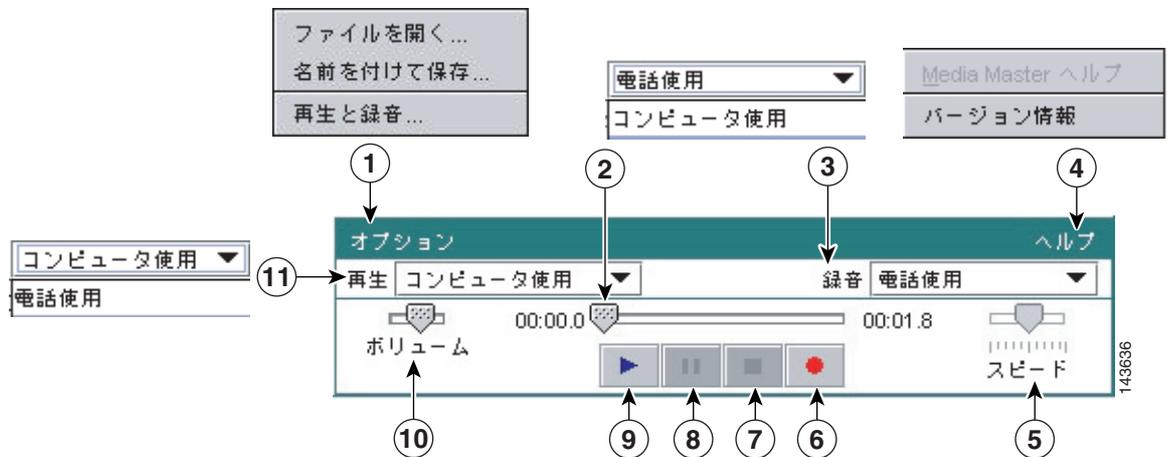
Media Master について

Media Master は Cisco Unity Inbox Web ツールのボイス メッセージ内に表示されます。これらのコントロールをクリックすることで、電話またはコンピュータのマイクとスピーカを使用してメッセージを再生および録音できます。

また、Media Master を使用すると、Cisco Unity Inbox の操作中に使用する録音デバイスや再生デバイスを変更したり、コンピュータ スピーカから再生されるメッセージの再生音量や再生速度を変更することもできます。

Media Master の設定に対する変更は、コンピュータごとにユーザ単位で保存されます。別のコンピュータ（たとえば自宅のコンピュータ）を使用して Media Master にアクセスする場合、2 台目のコンピュータでも Media Master の設定を変更する必要があります。

図 1 Media Master



1	オプションメニュー	7	停止
2	録音 / 再生の経過表示	8	一時停止
3	録音リスト	9	再生
4	ヘルプメニュー	10	音量コントロール
5	再生速度コントロール	11	再生リスト
6	録音		

表 1 で、Media Master の [ヘルプ] メニュー (図 1 の 4) で利用できるオプションについて説明します。

表 1 ヘルプメニュー

オプション	説明
Media Master ヘルプ	Media Master ヘルプを開きます。
バージョン情報	Media Master のバージョン情報と設定情報を表示します。

録音でのサウンドファイルの使用

Media Master の [オプション] メニュー (図 1 の 1) を使用すると、録音で別のサウンド (WAV) ファイルを使用できます。表 2 で、利用可能なオプションについて説明します。

表 2 オプションメニュー

オプション	説明
ファイルを開く	コンピュータに保存されている WAV ファイルを開き、選択された再生デバイスで再生します。
名前を付けて保存	録音を WAV ファイルとして指定した場所に保存します。

再生デバイスと録音デバイスの変更

Cisco Unity Inbox Web ツールの操作中にメッセージの再生と録音に使用するデバイスを選択できます。

再生デバイス	<ul style="list-style-type: none"> 電話：Cisco Unity Connection からユーザにコールが発信され、ユーザは電話の受話器またはスピーカフォンのスピーカを通じて音声を聞き取ります。 コンピュータのスピーカ（使用できる場合のみ）
録音デバイス	<ul style="list-style-type: none"> 電話：Cisco Unity Connection からユーザにコールが発信され、ユーザは電話の受話器またはスピーカフォンのマイクを使用して音声を録音します。 コンピュータのマイク（使用できる場合のみ）



ヒント

電話を使用すると、高音質で録音を行えます。

再生デバイスまたは録音デバイスを変更するには

- ステップ 1** Cisco Unity Inbox Web ツールで、ボイス メッセージを開きます。
- ステップ 2** Media Master の [オプション] メニューで、[再生と録音] をクリックします。
- ステップ 3** 適切なデバイスを設定します。

再生デバイス	電話またはコンピュータを選択します。
録音デバイス	電話またはコンピュータを選択します。

- ステップ 4** 再生デバイスまたは録音デバイスとして電話を使用する場合は、[アクティブな電話番号] セクションでプライマリ内線電話番号を選択するか、別の電話番号を入力します。この番号は、電話を使用して再生または録音を行うときに Connection がユーザにコールを発信する番号になります。



ヒント

アクティブな電話番号を設定すると、Media Master の再生リストと録音リスト（図 1 の 11 と 3）でデバイスを選択できるようになります。これらのリストを使用するとデバイスを簡単に変更できます。この選択は再度変更するまで Media Master を含むすべての Cisco Unity Inbox ページで保存されます。

ステップ 5 システムに最適なパフォーマンス設定を選択します。

ダウンロード中にメッセージを再生する	Connection へのダウンロード中にメッセージを再生します。
再生前にすべてのメッセージをダウンロードする	すべてのメッセージをダウンロードしてから再生します。
	 <p>ヒント 低帯域幅環境で Connection を使用する場合（たとえば、低速モデムを使用する場合）、最適なパフォーマンスと音質を得るには、メッセージを完全にダウンロードしてから再生することをお勧めします。</p>

ステップ 6 [OK] をクリックします。

コンピュータのスピーカを再生デバイスとして使用する場合のメッセージ再生音量の変更

このセクションでは、Media Master でコンピュータのスピーカを再生デバイスとして設定している場合に、Cisco Unity Inbox Web ツールで再生するすべてのメッセージの再生音量を変更する方法について説明します。



(注) 次の手順で設定した音量は、Cisco Unity Connection のガイダンス、名前の録音、ユーザ グリーティングの音量には反映されません。

コンピュータのスピーカを再生デバイスとして使用する場合に、メッセージの再生音量を変更するには

ステップ 1 Cisco Unity Inbox Web ツールで、ボイス メッセージを開きます。

ステップ 2 必要に応じて、Media Master の [ボリューム] スライダをドラッグして再生音量を調節します。

コンピュータのスピーカを再生デバイスとして使用する場合のメッセージ再生速度の変更

このセクションでは、Media Master でコンピュータのスピーカを再生デバイスとして設定している場合に、Cisco Unity Inbox Web ツールで再生するすべてのメッセージの再生音量を変更する方法について説明します。



(注) 次の手順で設定した速度は、Cisco Unity Connection のガイダンス、名前の録音、ユーザ グリーティングの速度には反映されません。

コンピュータのスピーカを再生デバイスとして使用する場合にメッセージの再生速度を変更するには

-
- ステップ 1** Cisco Unity Inbox Web ツールで、ボイス メッセージを開きます。
 - ステップ 2** 必要に応じて、Media Master の [スピード] スライダをドラッグして再生速度を調節します。
 - ステップ 3** [再生] をクリックして、コンピュータのスピーカで聞くすべてのメッセージのスピード設定を保存します。
-

Media Master のキーボード ショートカット

- Alt+O キー：オプション メニューが開きます。
- Alt+H キー：ヘルプ メニューが開きます。